

Check!

市内中学生の海外短期留学支援事業

世界で活躍する子どもたちの未来をつくる

市においては、これまでも市内中学生を対象とした海外短期留学を実施してきましたが、一部自己負担があるために留学をあきらめるケースがありました。そこで、本事業を普天間未来基金の用途にある「基地跡地の未来を担う人材育成に係る事業」として位置付け、ふるさと納税による寄附を募ることとしました。寄附による支援を通じて自己負担ゼロが実現されることにより、現に基地からの騒音等に悩まされている市内全ての中学生に経済的負担がなく、平等に海外留

学のチャンスを与えることができます。本事業は寄附者が寄附しやすい仕組みとするため、より具体的な事業としてプロジェクト化する「ガバメントクラウドファンディング」という手法により寄附を募っています。

市中中学生英語ストーリーコンテスト



平成30年度宜野湾市中学校短期海外留学派遣事業の候補者4名が宜野湾市中中学生英語ストーリーコンテストにおいて決定しました。残り6名の派遣者については、市内各中学校および教育委員会の推薦により決定します。

〈寄附の方法〉
・インターネット(パソコン、携帯)からの申込み。
「ふるさとチョイスガバメントクラウドファンディング」
URL: <https://www.furusato-tax.jp/gcf/205>
・右記のバーコードからも入れます
・市役所窓口
(まち未来課 ☎893-4411 内線308)にて申込みも可能。

〈支払方法〉
・クレジット決済
・郵便振替
・金融機関での口座振込
・県内金融機関限定で納付書での納付

Check!

平成30年3月31日まで
寄附申込みがまもなく終了します。

達成金額 **2,861,000円**

35.8%

目標金額: 8,000,000円

達成率	支援人数	終了日
35.8%	61人	平成30年3月31日

H30.2.28時点

市内中学生の海外短期留学支援事業に対して皆さまのご支援よろしく申し上げます。

子どもたちの描く「宜野湾の未来」

絵画コンクール「普天間飛行場跡地～ゆめのあるぎのわんのみらい」の大賞に選ばれた作品です。子どもたちが基地返還後の跡地利用について考えるきっかけづくりを目的に開催されました。テーマパーク、シンボルタワー、鉄道の駅など、子どもたちの「夢」が画用紙いっぱいに表現されています。

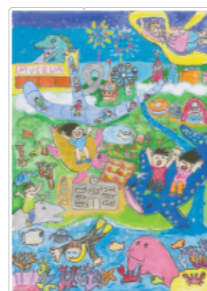
《大賞》



「まいにちがハッピーなまち」
普天間小学校 1年 山田 晴 さん

《大賞》

「新しい宜野湾市
～笑顔いっぱい～」
宜野湾小学校 5年
渡慶次 彩人 さん



普天間未来基金

宜野湾市では、一日も早い普天間飛行場の返還を実現するとともに、普天間未来基金を通じて、将来の宜野湾市の発展につながる基地跡地利用の推進に向けて皆さまのお力添えをお願いいたします。

普天間未来基金は、米軍基地の返還に向けた備えと、大きな可能性を秘めた基地跡地というフィールドにおいて未来を担う人材の育成などを目的として創設された基金です。

子どもたちはまちの未来を担う宝もの

Message 市長からのメッセージ

沖繩が今後ますます国際化するなかで、人材育成は非常に大切なことだと考えております。宜野湾市の場合は返還が実現していない普天間飛行場が、一番の課題ですが、返還後においても跡地利用に必要な財源を確保すること、そして大きな可能性を秘めた基地跡地というフィールドで活躍する人材を育成するための資金が必要となるため、「普天間未来基金(平成29年7月)を創設し、寄附を募っています。同基金のお金を使って子どもたちをアメリカに連れて行ってあげたいと考えておりますので、国際的な視野を持った人材を育成する本事業に対するご支援をよろしく申し上げます。

普天間飛行場は視点を世界に広げてみると、東アジアと日本本土の中心に位置しているという地理的特性から、その跡地利用は沖繩振興の発展はもとより日本経済の起爆剤になるものと期待されています。

宜

野湾市の中心に位置する普天間飛行場は、その危険性ゆえに日米両政府において返還合意がなされましたが、合意後20年以上経った今なお返還は実現されておらず、市民は航空機事故の危険性や騒音等の被害を強いられています。

